好奇心を起点とした教育・実践・研究活動の積み重ね：ミャンマー

小黒道子（東京医療保健大学大学院千葉看護学研究科）

2022年12月3日

アジア・アフリカ学術基盤形成事業の工夫と困難さ：学術振興会（2011-2022）

日本看護科学学会　COI　開示

演者氏名　小黒道子

所属名　東京医療保健大学大学院千葉看護学研究科

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業・組織および団体等はありません。

内容

- アジア・アフリカ学術基盤形成事業とミャンマーとの関係
- ✓ 人材交流
- ✓ セミナー
- ✓ 共同研究

- 【工夫】学術基盤形成事業を支えるoutsiders

- 【困難さ】2020年以後の拠点機関との交流の現状と課題

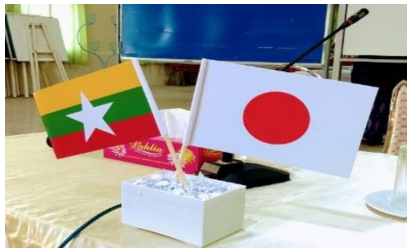
アジア・アフリカ学術基盤形成事業とミャンマーとの関係

2014年　ミャンマー国内の拠点機関の選定・交渉を開始

2016年　国立研究開発法人科学技術振興機構さくらサイエンスプログラムでマンダレー看護大学の若手教員・修士課程院生・引率教員の計11名を招聘

2018年　交流相手国にミャンマーを加え、マンダレー看護大学を拠点機関として申請

各種事業を継続し現在に至る



ミャンマーで看護学の学士号が取得できる教育機関

Ministry of Health and Sports

- University of Nursing、Mandalay
- University of Nursing、Yangon

Ministry of Defence

- Defence Services Institute of Nursing and Paramedical Science

Source: www.mapsland.com

拠点機関選定当初の教訓：急がば回れ

- 学術基盤形成事業の3回目の申請（2015-2018年）に先立ち、個人的な人脈を介して時のミャンマー保健大臣夫妻に拠点機関の選定を打診。

↓

2国間援助および米国や日本の大学と調印しても、ミャンマーに寄与する活動がなされてない、遅い、調査ばかりとのreview評価で選定に至らず

↓

看護・助産学や本事業のコンセプトを理解するcounter partsを地道に見つける必要性を改めて実感

↓

マンダレー看護大学と学術交流協定に関する協議を開始

拠点機関との人材交流

Myanmar→Japan

- マンダレー看護大学の若手教員・修士課程院生・引率教員の計11名が来日（10~11月）
- 学長・母性看護学教授・女性病院看護部長が来日
- 博士後期課程の院生が来日

Japan→Myanmar

2015
- マンダレー看護大学に電子メールで学術交流の実現可能性について照会

2016
- 聖路加国際大学国際連携センター長と共にマンダレー看護大学を訪問し学術交流意見交換会に出席（9月）

2017
- 大学院生がマンダレー看護大学訪問

2018
- 保健・スポーツ省で聖路加国際大学とマンダレー看護大学の学術交流協定締結

2019
- 看護教育セミナーに日本から教員4名+助産師1名、アメリカから教員1名訪問

2022

ミャンマーの看護教育の質向上を目指すセミナーの開催

2019年9月30日～10月1日@マンダレー看護大学

マンダレー看護大学教員20名+マンダレー地域の看護/助産専門学校教員20名+マンダレー看護大学実習病院の看護管理者および実習指導者20名の計60名が参加

We got interviewed for TV and broadcasted in Myanmar!!

共同研究の現状

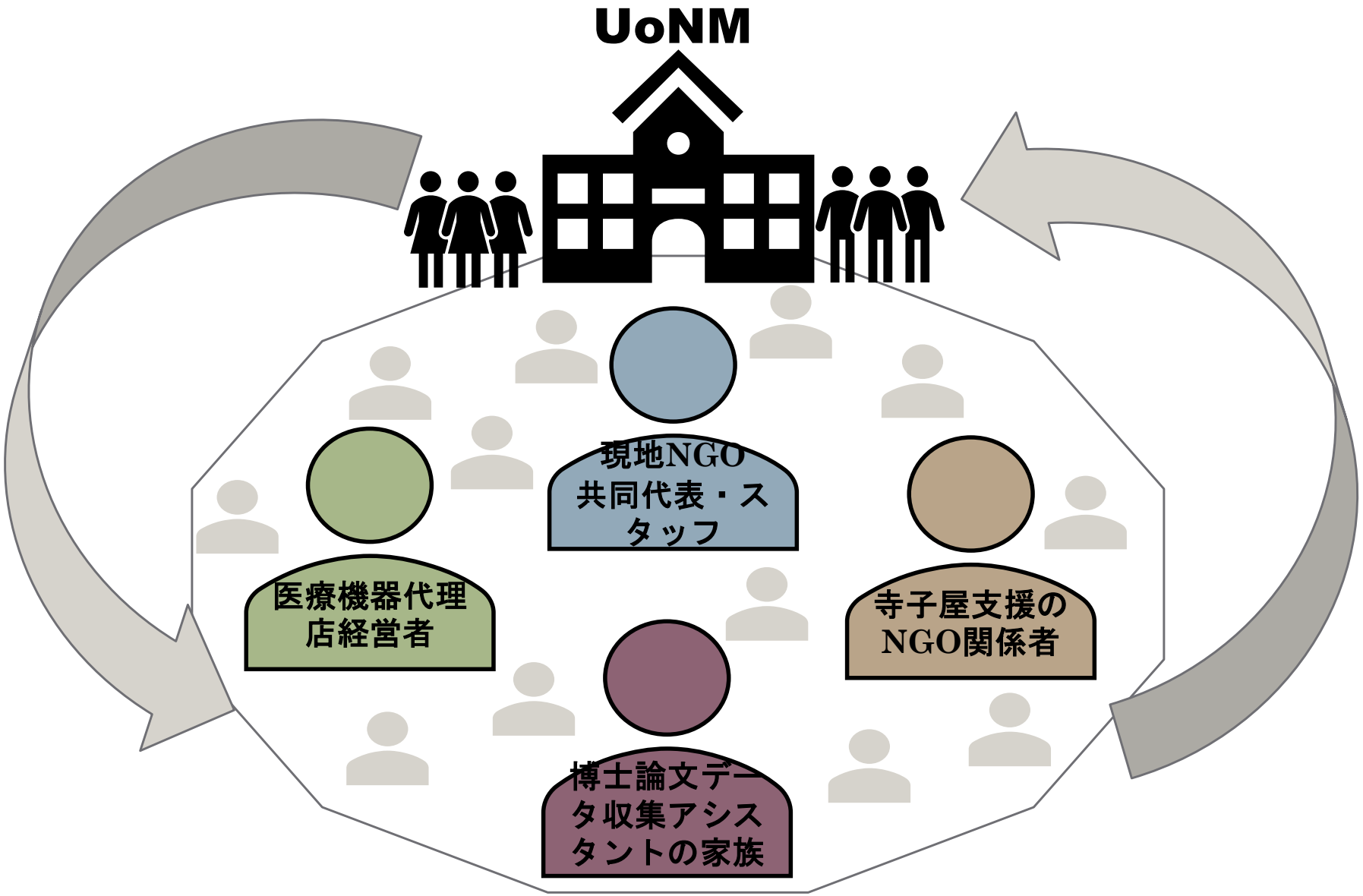
1. Voices from undergraduate students and faculty members regarding the status and challenges of baccalaureate nursing education in Myanmar: A qualitative study

- ミャンマーの学士課程における看護教育の現状と課題を明らかにするために、看護大学の教員および学生にFGDを行い質的記述的に分析
- ミャンマー保健・スポーツ省の研究倫理審査で忍耐を強化
- Nurse Education Today, 109, 105253に公表

2. Evaluation of an international collaboration-supported seminar on quality improvement of nursing education in Myanmar

- 投稿準備中

学術基盤形成事業を支えるoutsiders



2020年以後の
拠点機関との交流の現状と課題

- オンライン会議および電子メール等で適宜情報交換
- 2022年にマンダレーで開催予定だった教育セミナーは中止
- 拠点機関メンバー曰く「ミャンマー保健・スポーツ省はクーデターの影響が少ないので、調査研究、セミナーなどもできる」

⇕

- CDM（Civil Disobedience Movement）に参加する教員・学生

<u>情報を収集し、ミャンマーの拠点機関関係者の安全に配慮しながら今後の活動を検討したり、留学生の能力強化や研究の公表を進める</u>

まとめ

- 2018年からアジア・アフリカ学術基盤形成事業に加わったミャンマーは、基盤形成の途上で政治的要因により活動の一部中断を余儀なくされている

- 当事者以外からも政情に関する情報を収集し、ミャンマーの拠点機関関係者の安全に配慮しながら今後の活動を検討したり、研究の公表を進める

- 日本へ留学中の院生の教育・研究能力の強化により、未来に向けたミャンマーの看護教育の質向上を計る

- 本事業に囚われないミャンマーとの関係性に基づき、その時にできることを淡々と継続する